

5 母子保健児童虐待予防事業・母子保健体制強化事業

現在、母子保健分野においては様々な専門職が地域で活躍しており、行政保健師にも更なる専門性が求められている。そのため、乳幼児の精神発達やアタッチメントなど母子保健業務に従事する上で必要な知識を深め、市町村乳幼児健診等に求められている発達障害児の早期発見のための手法を学ぶことを目的として研修を実施した。研修には、国が進める5歳児健診の実施に向けて、5歳児健診の実績を持つ自治体から健診・相談の実際やその後の支援について話を聞き、5歳児健診の具体を学べる内容も含めた。

○ 保健師等母子保健関係者に対する研修

研修名	実施日・会場	内 容	対象・参加者数
母子保健体制強化事業研修会 (母子保健分野)	令和6年 6月20日(木) 自治会館(ハイブリッド)	講義 「乳幼児期の子どもの発達～乳幼児健診の時期を中心に～」 講師 宮城県子ども総合センター 技術次長(小児科医) 佐藤 寛記 講義 「アタッチメント形成に課題のある幼児の理解と支援について」 講師 宮城学院女子大学 名誉教授 足立 智昭 氏 話題提供 「5歳児を対象とした健診、相談等の実際」 話題提供者 鈴鹿市子ども政策部子ども家庭支援課 主幹(保健師) 茂木 ちあき 氏 仙台市こども若者局こども家庭部こども家庭保健課母子保健係 保健師 鈴木 真理佳 氏	県・市町村の保健師、市町村母子保健事業に従事する職員等 94人